

# 1号報告 1-1

## 2024年度事業計画書

### 1. 会員

会員への各種情報提供機能の強化、協賛行事の拡大など会員サービスの向上をはかり、正会員・維持会員等会員の増加に務める。新たに65歳以上の会員様にシニア会員制度を設けるサービスを開始する（事務局案）昨年度同様リスクが想定されるので慎重に進める。

### 2. 会誌

学術雑誌としての性格を維持し、会員のオリジナルな研究論文・技術論文・総合論文の掲載に重点をおくが、会員にとり親しみやすい会誌とするため、色材に関する先端技術から実用技術までを含めた平易な総説、解説、資料、講座、新製品・新技術紹介、主催・共催行事案内などを掲載し、会員の啓蒙、技術情報の提供を図る。21年度9月より、新企画として始めた企業から大学研究者へのインタビュー記事（年3回予定）については、24年度も継続する。また、魅力的な誌面とするため、3月、6月、9月の小特集記事及び12月号の特集記事については、カラーで掲載する。

### 3. 行事

行事の予定は次のとおりである。

	行事名	開催日	開催地
本部	2024年度色材研究発表会 東京都立産業技術研究センター（江東区青海）	10/30,31	東京
関東支部	第33回顔料分散講座(オンライン開催)	2/9	東京
	塗料講演会（東大駒場）	5/17	〃
	印刷インキ入門講座（ハイブリッド開催）	5/24	〃
	第64回塗料入門講座（東大駒場）	6/27,28	〃
		7/18,19	〃
	第65回顔料入門講座	8/29,30	〃
		9/5,6	〃
	第6回欠陥対策講座（塗料会館）	11月	〃
	第2回インクジェット基礎講座（ハイブリッド開催）	10/下旬	〃
	印刷インキアドバンス講座（ハイブリッド開催）	10/末	〃
第48回顔料物性講座（オンライン開催）	11/末	〃	
第20回色材IT講座（ハイブリッド開催）	12/中旬	〃	
関西支部	色材産業紹介セミナー（オンライン開催）	1/26	大阪
	色材マテリアル講座	中止	〃
	色材セミナー（対面 or オンライン開催）	6/月上旬	〃
	色材分散講座（対面 or オンライン開催）	7/月上旬	〃
	第56回塗料基礎講座 色材講演会（未定開催）	8月 or 10月 —	〃 〃
中部支部	色材セミナー	3/19	名古屋
	色材分析講座	9月	名古屋
	色材オブザベーション（見学会） 関東電化ファインテック	10月	三重県
	第55回中部化学関係学協会支部連合秋季大会 名工大	11月	名古屋
	色材アドバンスセミナー	12月	名古屋

#### 4. 委員会

(1)企画運営委員会	理事会の補佐機関として、将来計画を含む協会業務の全般的な企画、運営を図る。又、重点課題として、会員増強等協会全体の財政面の改革を取り上げ、対策の立案・推進を行う。
(2)編集委員会	協会誌に掲載する研究、技術、総合の各論文、ノート、速報等の審査を行い、総説、解説、資料、連載講座、ニュース、サロン、企業から大学研究者へのインタビュー記事等の企画を行う。特に、論文審査を通じて学術雑誌としての水準を維持するとともに、特集や講座の充実を図り、魅力ある協会誌作りに尽力する。昨年度より始めた大学研究者へのインタビュー記事は、24年度も継続する。22年度より、3月、6月、9月の小特集記事については、ハーフカラー方式（2頁毎に見開きカラー）で提供し、特に12月特集記事については、フルカラー方式で提供する。JAICI賞（ジャイン）の選定方法によるが、授賞論文の掲載についても検討を行う。
(3)ホームページ委員会	協会の顔となるべくホームページが、会員にとって魅力ある内容へ改訂と充実を図る。
(4)2024年度研究発表会実行委員会	2024年度色材協会研究発表会を2024年10月30日(水)、31日(木)の2日間、東京都立産業技術研究センターで開催予定としている。 共催を産業技術研究センターに承諾された。 実行委員：浅田副会長、酒井副会長、他
(5)国際化委員会	海外、特にアジア地域の色材関連機関、団体等との交流を深め、研究発表会には海外からの招待講演者を招聘すると共に一般参加者への広報を図る。
(6)その他の委員会	必要に応じて、企画運営委員会および理事会の議決を経て各種委員会を設け、協会業務の円滑な運営を図る。

#### 5. 部会・研究会

(1) 顔料部会	関東、関西支部部会において、顔料に関する年間の行事と運営を行う。
(2) 塗料部会	関東、関西支部部会において、塗料に関する年間の行事と運営を行う。
(3) 印刷インキ部会	関東、関西支部部会において、印刷インキに関する年間の行事と運営を行う。
(4) インクジェット部会	関東支部において、インクジェットに関する年間の行事と運営を行う。また、部会内に若手を対象に、基礎的な内容を取り上げて交流を図る技術研究会の運営を行う。
(5) 研究会 (i) 顔料物性研究会 (ii) 木材塗装研究会 (iii) 測色研究会 (iv) 印刷インキ技術研究会	顔料およびそれに関連する基礎研究について、研究会を開催する。顔料物性講座の企画・運営を行う。 木材の塗装・塗料に関する技術向上と産業界発展のために木材塗装基礎講座の開催、研修会、研究活動を実施する。 3月22日 2023年度研究発表会（Web開催） 秋 日本色彩学会研究会大会科学5研究会合同研究発表会 印刷インキとその関連材料に関する技術全般の調査、研究について、総会をはじめ、研究会、講演会、見学会や関連学協会との交流等を年間5回開催する。

#### 6. その他

(1) 公益法人としての取組み	平成25年度に公益法人の手続きが完了。引き続き令和6年度も非営利型一般社団法人として活動を続ける。
-----------------	---